



研究者総覧：杉村 泰 (SUGIMURA Yasushi)

氏名	杉村 泰 (SUGIMURA Yasushi)	
職名	教授	
所属講座	日本語文化専攻日本語教育学講座	
学位（専攻分野）	博士（学術）・名古屋大学	
メールアドレス	sugimura@lang.nagoya-u.ac.jp	
個人のホームページ	http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~sugimura/	
研究分野	日本語学	
	日本語教育	
	中国語教育	
現在の研究テーマ	日本語教育のための文法研究	
所属学会	日本語教育学会	
	日本語文法学会	
	日本中国語学会	
主要著書・論文	《日語語法問題解疑》、外語教学与研究出版社、2007年	
	『現代日本語における蓋然性を表すモダリティ副詞の研究』、ひつじ書房、2009年	
	『ひつじ意味論講座』第4巻、ひつじ書房、2012年	
	「形式と意味の研究 — テアル構文の2類型」、『日本語教育』91号、日本語教育学会、pp.61-72、1996年	
	「「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の使い分け — 日本語母語話者と日本語学習者の比較」、『世界の日本語教育』第17号、国際交流基金、pp.1-15、2007年	
自己紹介文	<p>私は「窓が開いている」と「窓が開けてある」、「10時に寝る」と「10時で寝る」など、日本語教育において問題となる文法項目を取り上げ、外国人が母国で日本語を教えるのに効果的な文法教育を開発しています。</p> <p>現在はCD-ROM版『新潮文庫の100冊』や新聞コーパスなどを利用して、従来知られていなかった日本語文法の規則性を新たに発見することに取り組んでいます。それと同時に、科学研究費で「華東政法大学作文コーパス」、「魯東大学会話コーパス」、「湖</p>	 <p>『現代日本語における蓋然性を表すモダリティ副詞の研究』</p>

	<p>南大学学習者中間言語コーパス」の作成を行い、日本語教育研究にするコーパスを作成しています。これらは杉村個人ホームページにおいて無料で一般公開しますので、皆様の研究にぜひご利用ください。</p> <p>大学院では学生に対する個人研究指導を重視しています。学生たちと日本語教育と関連する様々な研究テーマについて語り合うことにより、こちらもたくさんの刺激を受けることができます。そのような時間が研究者冥利に尽きると思います。</p>
<p>受験生へのメッセージ</p>	<p>『莊子』の文章に魅せられて、学部時代は中国古典文学を専攻していました。その時の勉強が今でも生きているような気がします。本専攻には様々な分野から学生が集まっています。それぞれの得意分野を生かし、新しい発想で研究を進めていってほしいと思います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="531 1086 981 1843"> <p>本講座では「日本語の勉強」ではなく「日本語の研究」をするのが目的です。日本語の文法なり、会話の仕組みなり、教え方なり、何か興味に思うことについて深く追究することに喜びを覚える人を待っています。</p> <p>私の専門とする日本語文法は、単に日本語教育の役に立つばかりでなく、法学や医学ともかかわっています。「自殺」とるか「他殺」とるか、殺意があったのかなかったのかななどということは、言語学その他動性や意志性と密接に絡んできます。学部で言語学や言語教育以外の専門を学んできた人は、そうした得意分野を生かした新しい発想で言葉を見つめ直してもいいでしょう。</p> <p>研究では何かの理論に基づいて行うのが普通ですが、必ずしも既成の理論にそのまま従う必要はないと思います。むしろ既成の理論を越えるような理論を構築するような意欲的な研究の方が面白いと思います。研究計画書には、単に先行研究のまとめを書くのではなく、みなさんの独自性がきらりと輝くような研究計画書を書いてください。</p> </div> <div data-bbox="981 694 1313 1030">  </div> <div data-bbox="1053 1064 1228 1093"> <p>論文の個人指導</p> </div> </div>